

## 文法問題に、長文読解に大活躍! 代名詞“other”を使いこなせ!

難関大を目指すなら、必要不可欠な「正確な英文法の知識」と「正確な長文読解力」。難しい文法や構文はきちんとできているのに、代名詞の知識があいまい。それゆえに、簡単な文法問題をミスしたり、あいまいな長文読解で誤答につながったり…。そんな事態を避けるためにも、今こそ、代名詞の中でも特に出題頻度の高い“other”の基本をマスターしよう!

東進英語講師・大岩 秀樹先生による 紙上講義!

### other? another? the others? 残りものには「福(=the)」がある!

東進ハイスクール・東進衛星予備校で英語を担当しております、大岩秀樹と申します。どうぞ、よろしくお願いします!

今回は、難関大でも出題率が高い、代名詞の超重要ポイントの1つを押さえます。ズバリ、それは「代名詞のother」です! 代名詞otherは「残りの人[もの]」「ほかの人[もの]」という意味が基本ですね。

では、手始めに、次の空所に当てはまる番号を選んでみてください。

I have four brothers; one is a lawyer and  are all teachers.  
① another      ② the other      ③ the others      ④ others  
(麻布大学)

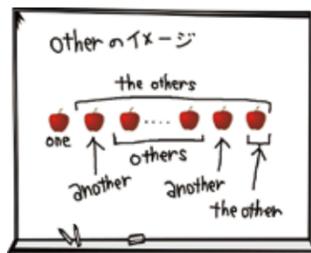
ちなみに、「私には四人の兄弟がおり、一人は弁護士、そして残りは全員教師だ」がこの文の和訳です。

自信をもって答えられたでしょうか? 答えは ③ the others になりますね。

それでは、本題に入りましょう。問題に正解できたかどうかも大切ですが、今回の授業でもっと大切にしたいのが「代名詞other」の考え方をしっかりと押さえてしまうことです。

代名詞otherで大切なのは「形」と「その形が表すイメージの基本」の2つです。まず「形」ですが、otherを代名詞で使う場合はハダカでは使わないのが基本です。つまり、「the, an, 複数形の-s」を付けて使うということですね。

次に、「その形が表すイメージの基本」を見ていきましょう。



イメージを解説すると、こんな感じです。

- the other : 最後の1人 [1つ] (単数)
- the others : 残り全員 [全部] (複数)
- another : 残りの中の1人 [1つ]
- ※an other がつながった形と考えよう
- others : 残りの中の数人 [いくつか]

想像してください。あなたは、大学生になって一人暮らしを始めました。そこに、田舎から大量のリンゴが送られてきます。

なんだよ、かあちゃん。オレがあんまりリンゴ好きじゃないって知ってるのに。まあ、これが親心ってやつ? ジャあ、どれか1個(one)はオレが食べるとして、残り全部(the others)を田中さんにあげようかな。…いや、待てよ。田中さんも女性の1人暮らしだし、そんなにもらっても困るよね。じゃあ、残りの中から1つ(another)あげようかな。…いやいや、ちょっと待てよオレ。さすがに1個じゃ、ケチケチ君って呼ばれそうだよな。彼女にそう思われるのは最悪だ。オレの始まってもないロマンスをリンゴで終わらせたならシャレにならない。じゃあ、残りの中から何個か(others)あげよう。そうだ、佐藤さんにも何個か(others)あげようかな。石田は…どれか1個(another)がいいな。最後の1個(the other)は鈴木でいいかな。…はっ! まさか、かあちゃん! オレの交友関係まで考えて大量のリンゴを!?... 今日リンゴは少ししょっぱいよ、かあちゃん。



どうでしょうか。使い方がイメージできたでしょうか。ものを無作為に取り出す場合の代名詞の使い方を一覧にすると次のようになります。

	最初のもの	2回目以降のもの	最後の残り全部
単数	one	another	the other
複数	some	others [some]	the others

東進英語講師・大岩 秀樹先生

先生の情熱あふれる授業は、英語アレルギーの生徒でさえ英語好きにかえ、英語を得意科目にしてくれる。また、「英文をカタマリで読み解く」「本物の基礎力にこだわった明るく楽しい」授業は、幅広いレベルの受験生から大好評! 「知らず知らずのうちどんな問題にも通用する本物の力が身につく!」と評判の気鋭の講師。



一見複雑そうですが、取り出す途中のものは不特定(another/others)の形になり、最後の残りものは特定されるので the がつく(the other/the others)という、当たり前のことを理解しておけば大丈夫です。

さあ、理解できたら、それを100%にするのが問題演習と音読です。それでは、早速次の問題に挑戦してみましょう!

#### Exercise!

問1 空所に最も適する語句を選びなさい。

It is one thing to want to do something; to actually do it is .  
① another      ② one another      ③ other      ④ the other  
(近畿大学)

#### 解説

「何かをしたいということと、実際にそれを行うということは別である」  
「A is one thing; B is another. (AとBとは別である)」はanotherを使った重要表現。「ものごと」は数限りなくありますが、to want to do something(何かをしたいということ)はそのうちの1つ(one), to actually do it(実際にそれを行うこと)はもう1つのこと(another)ですね。

問2 空所に最も適する語句を選びなさい。

I have five boxes here. One is full of books and  are all empty.  
① other      ② the ones      ③ the other      ④ the others  
(関西学院大学)

#### 解説

「ここに5つの箱がある。1箱は本で一杯であり、残りは全て空である」  
この文は、「残りの4箱=残り全部(複数)」の意味になれば文が成立するので、複数形でthe がつく④が正解になりますね。

問3 空所に最も適する語句を選びなさい。

Before you enter the sickroom, you need to wash your hands very carefully. First you should put one hand on the back of  hand and rub them together.  
① another      ② the contrary      ③ the opposite      ④ the other  
(慶応大学)

#### 解説

「病室に入る前には、とても丁寧に両手を洗う必要があります。まず、一方の手をもう一方の手の甲に当て、それらを一緒にこすればいいでしょう」  
この文は、「両手のもう一方の手(残りの手)=最後の1つ(単数)」の意味になれば文が成立しますよ。よって、④が正解になります。

問4 空所に最も適する語句を選びなさい。

Some countries have only winter and  only summer.  
① the others      ② others      ③ the rest      ④ those  
(上智大学)

#### 解説

「冬のみの国もあれば、夏のみの国もある」  
①を選んだ人いませんか? the othersを選べば、残り全部が夏だけの国になってしまいますよ。少なくとも、日本には四季があるので、夏だけではないですよ(もちろん冬だけでもない)。よって、残りの国のいくつかをイメージする②が入ればバッチリですよ。なお、この others のかわりに、some を使うこともできます。

裏面のチャレンジ問題へ続く! ⇨

**チャレンジ問題**

**【常識問題・思考問題に英語で挑戦!】**

英語に限らず、入試問題は「本文を読んで答えなさい」というものがほとんどです。したがって、本文の中に「答え」や「答えの根拠」が記されているのが基本です。しかしながら、「一般常識」「受験生としての常識」を知っていると、格段に解きやすくなる問題が存在するのも事実です。

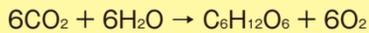
そこで今回は、語彙レベルはやや高めですが、常識プラス論理的な思考力を試す問題にチャレンジしてみましょう。

**Question 1**

次の(A)の説明を読んで、(B)の英文の空所①～⑤に適する語(句)を書きなさい。ただし、空所には(A)の説明に用いられている英語の語(句)が入るものとし、化学式で答えてはいけません。

(A)  
Photo means *light* and synthesis means *put together*, so photosynthesis means "putting together with light." Photosynthesis is a chemical process by which green plants change light energy into chemical energy.

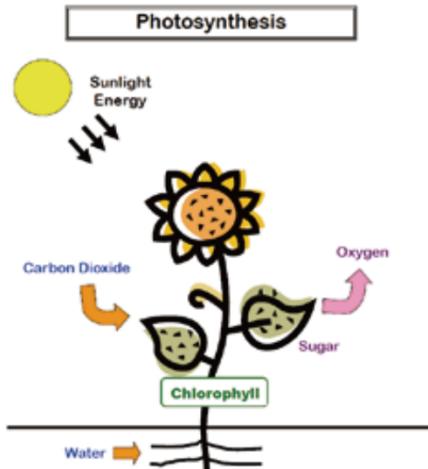
We can write the chemical reaction of photosynthesis as follows:



This chemical equation translates as: Six molecules of carbon dioxide plus six molecules of water produce one molecule of sugar plus six molecules of oxygen.

(B)  
Plants absorb a gas called ① \_\_\_\_\_, pull ② \_\_\_\_\_ up through their roots and use ③ \_\_\_\_\_ energy to make their own food. In this process, they make ④ \_\_\_\_\_ as their food and give off ⑤ \_\_\_\_\_ as a by-product.

この問題は光合成の話です。光合成は、小学校の理科で習いましたよね。光合成とは、「二酸化炭素と水が光エネルギーによって化学反応を起こし、炭水化物(糖類)と酸素を生成する」反応のことです。光合成は、炭水化物(糖類)を作るのが本来の目的であり、酸素は副産物として放出されているのでしたよね。



この問題のように、英語を通して他教科の基本常識を問う問題や、複数の情報を照合して答えさせる論理思考問題は、実は入試ではよくあることで、その傾向は難関大になるほど強く見られます。大学や社会は、「お勉強だけできる人」ではなく、「幅広い常識のある人、論理的に考えられる応用力のある人」を求めているのですから当然ですね。

難関大を目指すあなたは、「受験に不要な科目だから」という不毛な理由で勉強を怠ることなく、「本物の学力」を身につけるために、様々な知識を貪欲に求めていってくださいね。

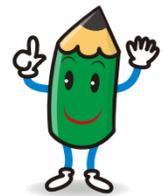
解説はWEBで行いますが、語句に関してヒントを出しておきましょう。ただし、論理的に考えれば解ける問題になっているので、なるべく日本語に頼らずに答えを出してみてください。

**(A)の語句**

- mean (動) 意味する
- put together (熟) 合成する・組み立てる
- photosynthesis (名) 光合成
- chemical (形) 化学的な
- process (名) 過程
- plant (名) 植物
- change A into B (熟) AをBに変える
- chemical reaction (名) 化学反応
- as follows (熟) 以下のように
- equation (名) 反応式・等しい状態
- translate (動) 翻訳される・言い換えられる
- molecule (名) 分子
- ※ atom (名) 原子
- carbon dioxide (名) 二酸化炭素
- produce (動) 生み出す
- sugar (名) 糖・糖質
- oxygen (名) 酸素

**(B)の語句**

- absorb (動) 吸収する
- gas (名) 気体
- ※ liquid (名) 液体
- ※ solid (名) 固体
- root (名) 根
- give off ~ (熟) ~を放出する
- by-product (名) 副産物



**解答と詳しい解説の映像を、東進ドットコムで限定公開中!**

Web限定・大岩先生の特別解説授業はこちら!

[www.toshin.com](http://www.toshin.com) 学力増進号 🔍 検索



**東進ドットコムでしか観られない解説授業の映像を公開中!**

ハッキリ言って合格実績が自慢です!! 大学受験なら、

**TOSHIN TIMES**  
発行 東進本部  
発行人 永瀬昭幸  
本部 千180-0003 東京都武蔵野市 吉祥寺南町1-29-2  
編集 株式会社ナガセ広報部  
TEL:0422-44-9001  
禁・無断転載

**東進ハイスクール**  
0120-104-555

**東進衛星予備校**  
0120-104-531

東進 検索 0120-104-531  
東進公式 Twitter 東進公式 Facebook

172大学の過去問も閲覧可!!  
東進ドットコムはケータイ・スマートフォンからもアクセスできます!